

【 第48回熊本大学定例学長記者懇談会 】

日 時：令和7年9月10日（水） 14：00～15：00（予定）

場 所：本部棟1階 大会議室

本学出席者：熊本大学長

小川 久雄

理事（研究・グローバル戦略、産学連携担当）

大谷 順

理事（広報・ブランディング・行政連携担当）

宮尾 千加子

内 容：

1. 細胞流動から紐解く左右差発生機構の解明（資料1）
国際先端医学研究機構 特任講師 浅井 理恵子
2. 特別支援教育に関わる先生をサポートする「生成AIチャットボット」の開発（資料2）
大学院教育学研究科 准教授 本吉 大介
3. 日米学生会議の活動報告（資料3）
工学部3年 両角 朱莉
工学部2年 小林 響
4. 熊本大学阿蘇耐久遠歩大会について（資料4）
教育学部4年 江上 ひな（熊本大学体育会第66代本部企画長）
5. その他



2024年度 創発的研究支援事業採択課題
(2025年7月採択決定)



熊本大学
Kumamoto University

細胞流動から紐解く左右差発生機構の解明

浅井 理恵子

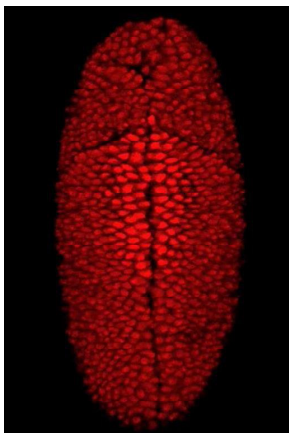
熊本大学 国際先端医学研究機構 特任講師

令和7年9月10日
熊本大学定例記者懇談会

1

細胞流動＝受精卵から体が作られる過程での集団的細胞運動

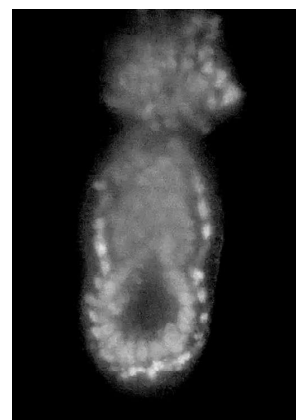
昆虫



カエル



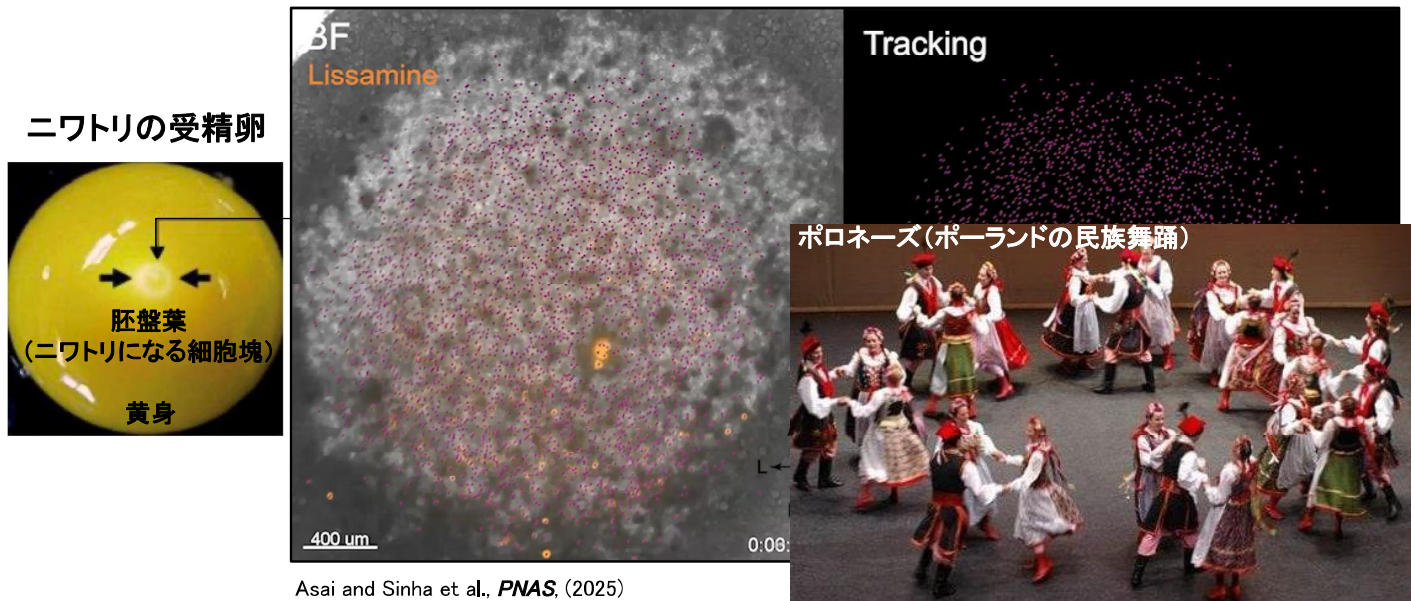
マウス



細胞流動のメカニズム、体の形づくりにおける役割は不明

2

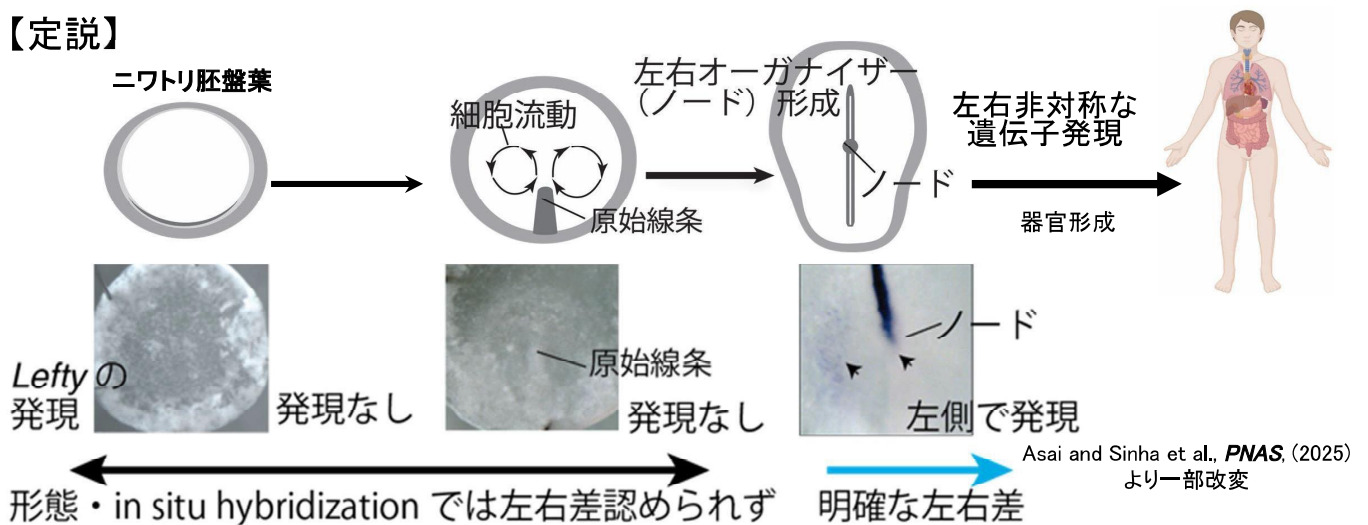
ニワトリの卵の中では集団的に細胞が動く



3

ニワトリ胚の集団的細胞運動は左右対称と考えられてきた

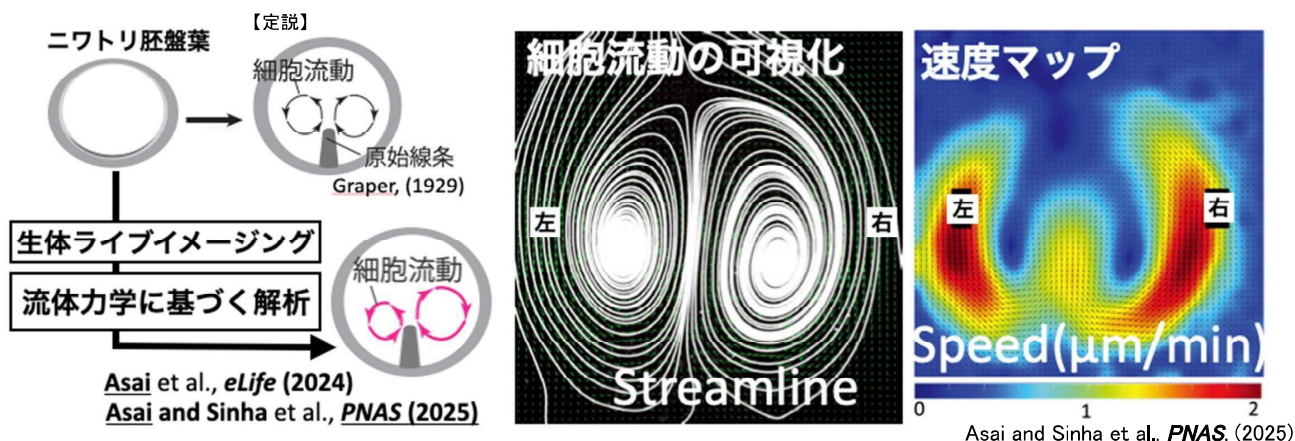
【定説】



見えない左右非対称性を可視化し計測する技術の必要性

4

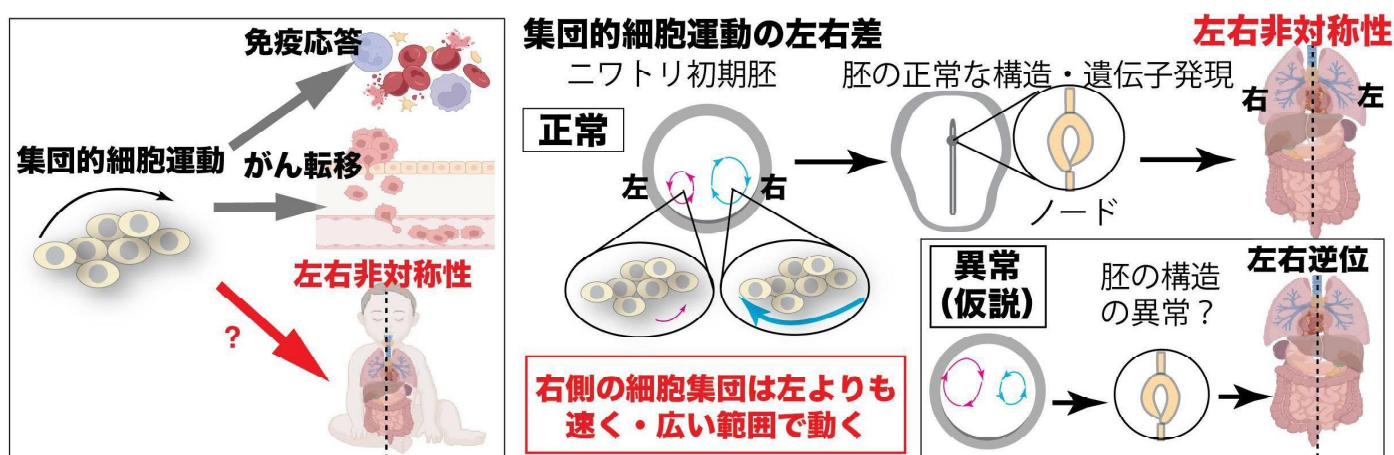
異分野融合による新しい左右非対称性の発見



ニワトリ胚の左右非対称性は定説より早くから存在する

5

【本研究の意義と今後の展開】



熊本大学わかば支援をはじめ、創発応募にあたりご支援を賜りました皆様に心より御礼申し上げます

6

特別支援教育に関わる先生を サポートする 「生成AIチャットボット」の開発

情報プラットフォームの維持・発展に向けた取り組み

熊本大学大学院教育学研究科

准教授 本吉大介

専門: 特別支援教育・臨床心理学・教育工学



※本研究は科学研究費(課題番号23K02737「特別支援教育における授業・教材研究を支援する情報プラットフォームの開発と実装」)の支援を受けて実施したものです。

1

Contents

研究の背景

研究成果

生成AIチャットボットの評価

情報プラットフォームへのアクセス状況

社会実装と維持・発展に向けて

研究の背景

特別支援教育

- 障害がある児童生徒の実態や個々のニーズに応じる
- 教育内容・方法を柔軟に変更・調整

研究による専門知識・技術・理論の開拓

- アセスメントの研究
- 効果的な指導・支援方法の研究
- 学校教育の改善に関わるカリキュラム・マネジメント研究



特別支援教育における教育改善の課題

- ①障害の重度・重複化、ニーズの多様化、高度なオーダーメイド
- ②教員の経験年数や専門性の違い
- ③授業・教材データ共有システムの未成熟
- ④組織的・継続的な研究が困難

研究成果

専門性が高い教員のアセスメント・授業づくりを デジタルツール化「生成AIチャットボット」

- ・ 障害がある子どもへの日常的な対応について相談
- ・ 自立活動の指導計画作成
- ・ 様式に沿った学習指導案作成
- ・ 教材の多言語翻訳
- ・ 議事録作成（ケース会議等）

「いつでも・どこでも」サポートする情報プラットフォーム

- ・ Webサイト「学校DX化でわくわくをサポート」を構築
- ・ 全国の先生とコミュニケーションを取りながらツール開発

熊本大学 本吉 わくわく



授業・教材研究を支援する情報プラットフォーム

学校DX化で わくわくをサポート

情報プラットフォーム

ホーム | 【会員情報】 | お問い合わせ

【AIチャットボットをご利用の方へ】 AIチャットボットの評価アンケートにご協力ください【2～3分程度】

授業
教材

授業・教材

生成AI活用

生成AI活用

グローバル
(多言語)

グローバル化への対応

ゲームコーナー

ゲームコーナー

アセスメント
ツール

アセスメントツール

リシューティ
ーム

自立活動の個別指導
計画（関連図もサポ
ート）を提案する…

シンプルブロック
崩し

【教員採用試験対策】
特別支援の面接で真
問されそうなこと…

【事例紹介】知的障
害がある児童生徒を
対象とする選考の一

【Claude 3.5
sonnet】ノラジ、
タブレットでも動…

【談話
の動き
の学習

Open Chat

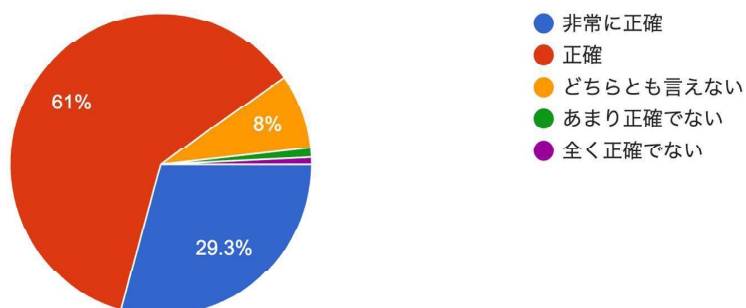
学校現場のニーズに応じたツールの情報発信基地



生成AIチャットボットの評価



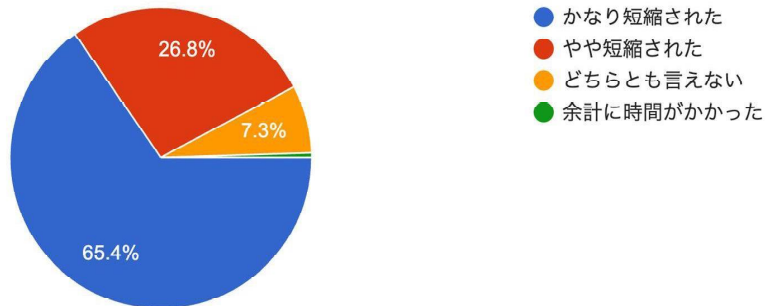
今取り組まれた作業に関して、
AIツールが生成した情報の正確性についてどのように評価しますか？
410 件の回答



「情報の正確さ」 90.3%が肯定的な回答



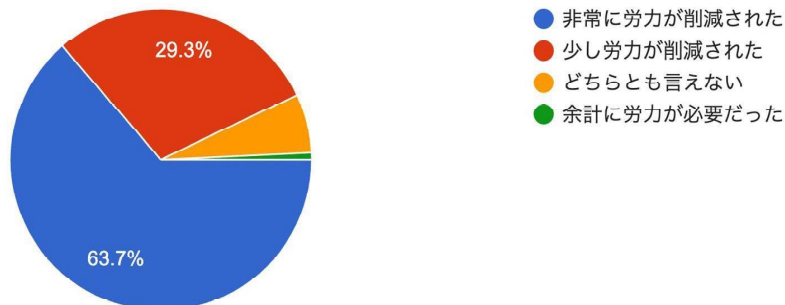
今取り組まれた作業に関して、AIツールを活用することで作業時間はどの程度短縮されましたか？
410 件の回答



「作業時間の短縮」 92.2%が肯定的な回答



今取り組まれた作業に関して、AIツールを活用することで作業労力はどの程度削減されましたか？
410 件の回答

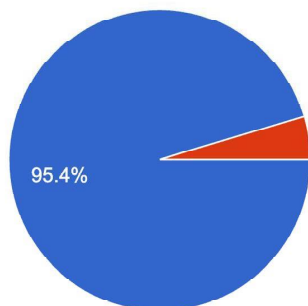


「労力の削減」 93%が肯定的な回答



AIツールが生成した情報に学びや気付きはありましたか？

410 件の回答



- 新たな学びや気づきがあった。
- 新たな学びや気づきはなかった。

「学びや気づき」 95.4%が肯定的な回答

情報プラットフォームへのアクセス状況

全国各地から月間1万アクセス

地域	+	↓	アクティブ ユーザー 10,881 全体の 100%
合計			
1 Tokyo			2,085 (19.16%)
2 Osaka			943 (8.67%)
3 Hokkaido			697 (6.41%)
4 Hyogo			617 (5.67%)
5 Kumamoto			482 (4.43%)
6 Fukuoka			479 (4.4%)
7 Mie			479 (4.4%)
8 Kanagawa			409 (3.76%)
9 Okinawa			385 (3.54%)
10 Chiba			376 (3.46%)



研修・ワークショップ

教育委員会・学校等主催の研修会

- 熊本県内(市、小学校、中学校、特別支援学校、研究会)
- 山口県(県、特別支援学校)
- 兵庫県(研究会)
- 福岡市(特別支援学校)

令和7年度公開講座「生成AIを使ったチャットボットづくり」

- 初級編 7月20日(日)
- 中級編 9月13日(土)
- 上級編 9月14日(日)

ICT・AIのワークショップ(教員・学生向け)

- 4月26日(土)
- 6月28日(土)
- 9月27日(土)

社会実装と維持・発展に向けて

これからの課題

- 開発の継続(常にアップデート)
- 迅速なユーザーサポート(現場と対話)
- 安定した運営(資金・マンパワー)

YU-tech AI Solutionとライセンス契約

- 特別支援教育の専門性
- 教育DX・学校現場への理解





詳細は情報プラットフォーム
「学校DX化でわくわくをサポート」へ

ありがとうございました

日米学生会議 活動報告



日米学生会議とは (JASC)



日米学生会議
JAPAN-AMERICA STUDENT CONFERENCE

日米学生会議（JASC）は、1934年に創設された、日本最古の国際的學生交流プログラム。

「世界の平和は太平洋にあり、太平洋の平和は日米間の平和にある。その一翼を学生も担うべきである」という理念のもと、毎年、日米同数の学生が集い、約3～4週間にわたり共同生活を送りながら、社会課題に関する議論、文化交流、フィールドトリップを通じて相互理解を深めている。

創設の背景には、満州事変によって悪化した日米関係を憂慮した学生たちの強い問題意識があり、以来90年にわたり、JASCは政治・経済・文化など多様なテーマを議論し、参加者は会議後もその経験を活かして社会に貢献することが期待されている。

今年は

日本側参加者：36名

アメリカ側参加者：36名

熊本参加者：11名

計 99名（実行委員含む）

第77回の開催場所

7/31 - 8/6 : 京都

8/7 - 8/13 : 熊本

8/14 - 8/21 : 東京

→熊本サイトの企画委員会として参加。

準備期間

2月～8月

- ・ 週に1回のミーティング（ZOOM）
→各日程の内容決定
with JASC実行委員会
- ・ 協賛・講演依頼 （熊本大学担当）

Page 5 of 14			
EVENT GOALS	8/7 01 空港でJASC参加者と合流 熊本KIOKUミュージアム訪問 白川水源	8/8 02 午前：地元企業・行政訪問 午後：天草ホームステイ ・対面式 →・ミッションの説明 ・ホストファミリーとの交流	8/9 03 天草ホームステイ フリーデイ

Page 6 of 14			
8/10 04 天草ホームステイ ・解散式 ・交流会 →・凧作り ・天草ハイヤ踊り体験 (牛深高校郷土芸能部)	8/11 05 平和学習(オンライン配信) ・被爆体験 武田頼弘 様・工藤武子 様 ・高校生平和大使 島津陽奈 様 ・青木栄 様 必由館高校 和太鼓演奏 熊本城見学 熊本県立博物館見学	8/12 06 午前：菊陽町役場訪問 JASM工場見学 午後：SDGs未来パーク 企業ブース見学 菊陽町町長公演（菊陽町の経済効果） 熊本大学学長の講演（熊本大学について） 熊本大学学生パネルセッション （JASM進出と熊本大学の変化）	8/13 07 午前：森都心プラザ ディスカッション ・地元の高校生・大学生参加 ・トピック →・災害と復興 ・半導体と地域振興 ・地域おこし 午後：肥後銀行本店ホール パネルセッション （高校生・大学生・JASC参加者）

1日目 8/7

午前：熊本空港でJASCメンバーと合流

午後：熊本KIOKUミュージアム
白川水源見学



2日目 8/8

午前：地元企業・行政訪問

午後：天草ホームステイ

- ・ 対面式
 - ・ ミッションの説明
 - ・ ホストファミリーとの交流





3日目 8/9

天草ホームステイ
・フリーデー



4日目 8/10

天草ホームステイ

- ・解散式
- ・交流会
 - ・凧作り
 - ・天草ハイヤ踊り体験
(牛深高校郷土芸能部)





5日目 8/11

平和学習(オンライン配信)

(熊大百周年記念館)

- ・被爆体験講話・紙芝居
武田頼弘 様・工藤武子 様
- ・高校生平和大使
島津陽奈 様
- ・被曝の実相・核廃絶講話
青木栄 様

必由館高校 和太鼓演奏 (雨天中止)

熊本城見学 (雨天中止)

熊本県立博物館見学 (雨天中止)



6日目 8/12

午前：菊陽町役場訪問

JASM工場見学

午後：SDGs未来パーク

企業ブース見学

菊陽町町長公演 (菊陽町の経済効果)

熊本大学学長の講演 (熊本大学について)

熊本大学学生パネルセッション
(JASM進出と熊本大学の変化)





7日目 8/13

午前：森都心プラザ

ディスカッション

- ・ 地元の高校生・大学生参加
- ・ トピック
 - ・ 災害と復興
 - ・ 半導体と地域振興
 - ・ 地域おこし

午後：肥後銀行本店ホール

パネルセッション

(高校生・大学生・JASC参加者)

学んだこと

- ・ 自分の英語力の未熟さを実感した。日本側アメリカ側参加者の学ぶ姿勢には自分たちも見習わなければならないと感じた。(小林 響)
- ・ jascに関わったことで、新しい視点から物事を捉えられるようになった。語学力を身につけて、jasc参加者ともっと深い話ができるようになりたいと思った。(両角 朱莉)
- ・ 日米学生会議に参加したことをきっかけに、自分から熊本について調べるようになり、パネルセッションでは調べた内容を発表できて良い経験になりました。(平良 遊帆)

令和7年9月10日開催

熊本大学定例学長記者懇談会 資料4



熊本大学 阿蘇耐久遠歩大会



2025.10.31(金)
20:00 開会式
23:00 遠歩開始

阿蘇耐久遠歩大会とは？

阿蘇のスタート地点から熊本大学までを歩破する大会

〈スタート地点〉

Halfコース（約31.2km）

⇒新阿蘇大橋展望所 ヨ・ミュール

Fullコース（約61.5km）

⇒阿蘇山上広場

阿蘇山上広場スタートは10年振り！



今年で60回目を
迎える伝統のある
大会です！！

阿蘇山上広場

→
道の駅阿蘇

→
ヨ・ミュール

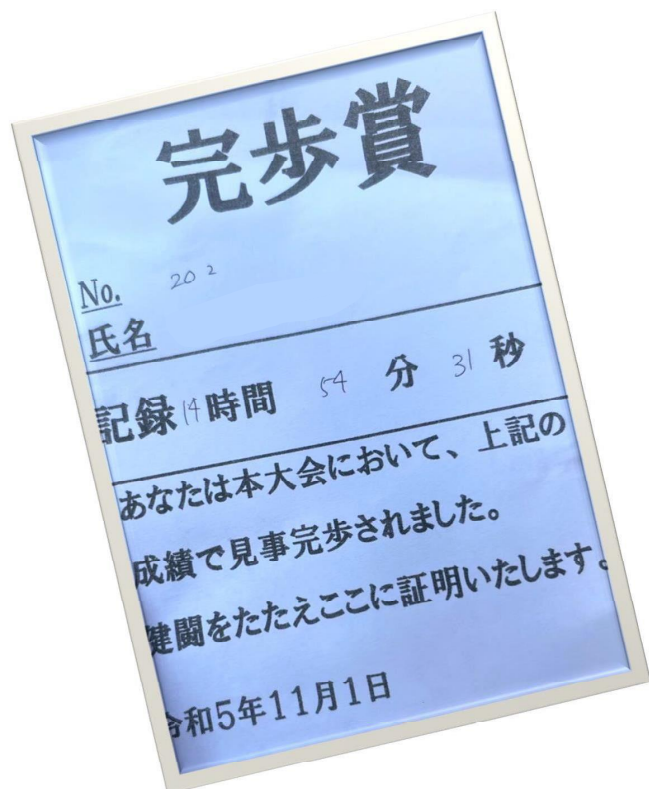
→
大津町運動公園

→
中央公園

→
武蔵塚公園

→
熊本大学





各参加者のタイムを記録し、上位者は表彰します。

また、3～5人で1組のチームとしても参加可能です。
チームメイトの平均タイムによりチームの順位を付けます。

第60回 阿蘇耐久遠歩大会

熊本地震以降初！
山上スタートが帰ってくる

日時 10/31 (金) 23時スタート

参加費用 体育会会員 2000円 非会員 3000円 OBOG・教職員 4000円

募集人数 FULL コース約 60 km 阿蘇山上広場スタート 300人
HALF コース約 30 km 新阿蘇大橋展望所 ヨ・ミュールススタート 200人

募集期間 7/21 (月) ~ 10/4 (土) (先着順)

第66代熊本大学体育会本部主催
詳細は公式 Instagram (@kuasa_kumamoto_univ) や X (@kumamoto_univ) をご覧ください

阿蘇耐久遠歩大会 初の試み

第60回大会 卒業生の参加枠を設けました！

【第1回から第59回まで継続されてきた先輩方へ感謝を込めて】

熊本大学を卒業して数年～数十年、卒業生の皆様に学生時代を思い出す機会とし、学生時代の仲間や教員と再会し、今一度、秋風吹く阿蘇から青春を謳歌しませんか？

【幾多の困難を乗り越えて10年振りに阿蘇山上広場へ帰る～記憶を未来へ～】

平成28年熊本地震により安全を考慮し、阿蘇山頂スタートを断念せざるを得ず、熊大-大津町、熊大-宇土市を巡るコース、令和2年度・3年度には新型コロナウイルス感染症の影響により、開催自体が中止に追い込まれました。

令和4年度からは南阿蘇をスタート地点として再開し、令和5年度には阿蘇山頂への復帰を目指し、阿蘇市内牧からのスタートを実現しました。そして令和6年度、いよいよ阿蘇山頂からのスタートを計画しましたが、「2024年問題」に起因する夜間貸切バスの手配困難により、再び南阿蘇からの日中開催となりました。

在学生にとって「遠歩＝阿蘇山上広場」は、まだ記憶にない風景です。だからこそ、卒業生の皆様の記憶を今に伝え、**未来へと紡い**でいきませんか。100回という節目に向けて、想いをつなぐ一歩を。。

【卒業生への周知】

- 先週、本学の卒業生メーリングリストに登録希望された方へ参加案内をメール配信
- 全卒業生が登録していないため、同級生への情報拡散も依頼
- 体育会のInstagramやXでも情報公開

卒業生メーリングリスト登録者数: 3,499名



卒業生専用の参加登録用QRコード

阿蘇耐久遠歩大会の運営

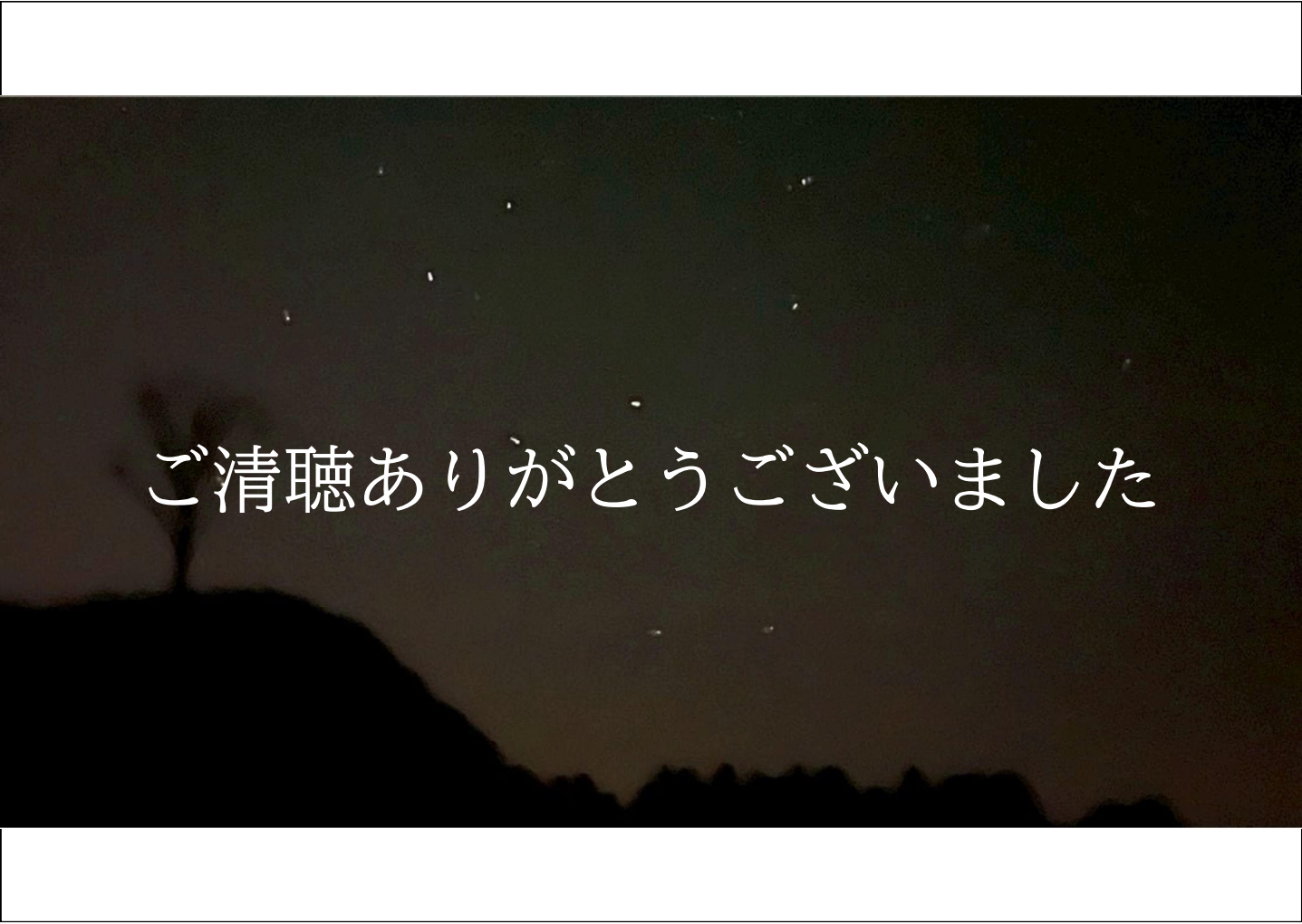
	組織	資金
以前	ワンダーホーゲル部（体育会所属の大学公認サークル）が中心となり顧問教員の研究室メンバーの協力で運営	参加費・大学負担金 ※学生参加費が500円の時代もあった
現在	現役体育会執行部が中心となり、OBの体育会執行部の協力で運営	参加費・大学負担金 ※学生参加費の値上げ

大会の運営組織の人数を確保するにも大変ですが、大会運営資金の確保が厳しい状況
昨今の**物価高騰**に加え、「2024年問題」による**貸切バス代の高騰**、さらには安全確保のための**光源レンタル品増加**など、運営費用は大幅に増加。
一方で大学からの予算削減も重なり、**参加費だけでは大会運営が極めて厳しい状況**

阿蘇耐久遠歩大会 継続開催のため

- ・参加費値上げ
- ・協賛金の獲得（今年初めて2社協賛）
【株式会社くまもとKDSグループ様・株式会社えがお様】
- ・卒業生への寄附依頼

この伝統ある阿蘇耐久遠歩大会を永久的に継続していくためには、**卒業生の皆様からの温かいご支援が不可欠です。**熊本地震からの復興の象徴として、そして未来を担う熊大生たちの成長のために、皆様からのご支援を心よりお願い申し上げます。



ご清聴ありがとうございました

阿蘇の夜空の下、再び熊大生の息吹を——。伝統ある大会へのご支援のお願い

熊本大学阿蘇耐久遠歩大会は、今年度、記念すべき**第 60 回**を迎えます。この大会は、長年にわたり熊本大学の学生にとって、阿蘇の雄大な自然を舞台に自身の限界に挑み、仲間との絆を深める貴重な機会となってきました。しかし、近年、大会の存続と発展は様々な困難に直面しております。

幾多の困難を乗り越えて

平成 28 年熊本地震は、大会に大きな影響を与えました。安全を考慮し、長らく親しまれてきた**阿蘇山頂スタートのコースを断念せざるを得ず**、熊大-大津町、熊大-宇土市を巡るコースでの開催となりました。その後、令和 2 年度・3 年度には新型コロナウイルス感染症の影響により、**開催自体が中止**に追い込まれました。

令和 4 年度からは南阿蘇をスタート地点として再開し、令和 5 年度には阿蘇山頂への復帰を目指し、阿蘇市内牧からのスタートを実現しました。そして令和 6 年度、いよいよ阿蘇山頂からのスタートを計画しましたが、**「2024 年問題」に起因する夜間貸切バスの手配困難**により、再び南阿蘇からの日中開催となりました。

阿蘇山頂への回帰、そして未来へ

こうした状況の中、私たちは熊本地震からの復興を願い、****「秋夜の阿蘇山頂に熊大生有り」****と阿蘇の方々をはじめ、コース沿線の地域の方々に熊大生が戻ってきたと感じていただけるよう、**第 60 回大会では阿蘇山頂からのスタートを強く目指し、現在その準備を進めております。**

この大会は単なるウォーキングイベントではありません。学生が阿蘇の壮大な自然と向き合い、困難を乗り越えることで得られる達成感、そして地域との交流は、参加者にとってかけがえのない経験となります。

皆様からの温かいご支援をお願いいたします

しかしながら、昨今の**物価高騰**に加え、「2024 年問題」による**貸切バス代の高騰**、さらには安全確保のための**光源レンタル品増加**など、運営費用は大幅に増加しております。一方で大学からの予算削減も重なり、**参加費だけでは大会運営が極めて厳しい状況**です。現在、企業・団体様への協賛のお願いも進めておりますが、この伝統ある阿蘇耐久遠歩大会を永久的に継続していくためには、**卒業生の皆様からの温かいご支援が不可欠です。**

熊本地震からの復興の象徴として、そして未来を担う熊大生たちの成長のために、皆様からのご支援を心よりお願い申し上げます。

熊本大学体育会、熊本大学学生支援部学生生活課

ご寄附の方法

- ① 専用払込用紙によるご寄附
- ② Web 申し込みによるご寄附
- ③ クレジットカードによるご寄附

① 専用払込用紙によるご寄附

専用払込用紙を郵送いたしますので、以下までご連絡ください。

●熊本大学 経営企画本部 基金運営室

TEL：096-342-3129（平日 9 時～17 時） E-mail: kuma-kik@jimu.kumamoto-u.ac.jp

専用払込用紙がお手元に届きましたら、最寄りの金融機関等にてお振込みください。

専用払込用紙をご利用のうえ、肥後銀行・熊本銀行・三菱 UFJ 銀行・ゆうちょ銀行（郵便局）の窓口からお振込みの場合、振込手数料は不要です。

② WEB 申込によるご寄附

寄附申し込みフォーム

<https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp/webform/>



必要事項を入力し、表示される振込金融機関・口座宛にお振込ください。

※「寄附目的」の項目は、「○その他」にチェックを入れ、空欄に「遠歩」とご入力ください。
この記載は寄附の用途を特定するために必要ですので、お手数ですが必ず記載をお願いします。

寄附目的	☐ 全ての事業 (教育・学生支援、国際共同協力、地域貢献・社会貢献活動及びキャンパス環境整備、キャンパスミュージアム等の幅広い事業)
	☐ 全学事業 ※事業名をご選択ください。
	☐ 学部・研究科等教育研究支援事業 ※事業名をご選択ください。
	☒ その他 ※その他を選択される場合は、具体的にその事業名をご入力ください ※特定のサークルへの寄附の場合、サークル名をご入力ください。 遠歩

③ クレジットカードによるご寄附

クレジットカードによるご寄附申し込み

<https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp/howto/howto02/>



必要事項を入力し、決済手続きを行ってください。

※「3 寄附内容入力画面」の「寄附金の使途内訳を入力してください」は、プルダウンから「【その他】-特定のサークル等への寄附」を選択してください。さらにページ下段「国立大学法人熊本大学へのメッセージを記入してください」に「遠歩」とご入力ください。
この記載は寄附の使途を特定するために必要ですので、お手数ですが必ず記載をお願いします。

寄附金の使途内訳を入力してください

事業の種類	必須	【その他】 - 特定のサークル等 ▼	,000円
「今回のみ」の場合は複数指定が可能です。(最大27件まで)			使途を追加する

国立大学法人熊本大学へのメッセージを記入してください	遠歩
----------------------------	-----------

■お問い合わせ先（寄附方法などの手続きについて）

●熊本大学 経営企画本部 基金運営室

〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1

TEL：096-342-3129 FAX：096-342-3007

E-mail：kuma-kik@jimu.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学基金 HP：<https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp/>

よくあるご質問：<https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp/faq/>



■お問い合わせ先（遠歩について）

●熊本大学 学生支援部 学生生活課課外支援担当

〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1

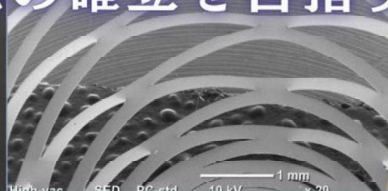
TEL：096-342-2121 E-mail: gag-gakusei@jimu.kumamoto-u.ac.jp

令和7年9月10日開催

熊本大学定例学長記者懇談会 報告 1

がんで苦しむ患者さんと
その家族の未来を守るために

早期発見と
再発予測を実現する、
新たな診断法の確立を目指す！



第二目標金額 **1,100万円** 寄附募集期間 **9月29日(月) 23時まで**

血液検査でがんの早期発見・再発予測に挑戦！ 新技術の社会実装を推進

※本プロジェクトへのご寄附は熊本大学へのご寄附となり、確定申告を行うことにより2025年の税制上の優遇措置が受けられます。
※第二目標金額（1,100万円）に向けては、寄附募集終了日までに集まった寄附金を受け取ります。

90名を超える多くの皆さまから心のもったご支援をいただき、おかげさまで第一目標470万円を早期に達成することができました。
力強い応援や温かいご寄付、そしてプロジェクトの周知など、改めて心より感謝申し上げます。
皆さまから寄せられた期待や激励のメッセージは、私たちプロジェクトメンバーにとって大きな支えであり、今後の推進力となります。
血液検査でがんの早期発見と再発予測を実現する技術を確立し、社会実装に向けて着実に歩みを進めてまいります。

本クラウドファンディングはこのたび、プロジェクトの継続的な発展とさらなる展開を目指し、
第二目標(ネクストゴール)として「**1,100万円**」に挑戦させていただくことにいたしました。
ネクストゴールでは、現在取り組んでいる**胃がん**や**食道がん**の症例に加え、
膵臓がんや**大腸がん**へと実施症例を拡大するための研究資金に充てさせていただきます。

このプロジェクトの成果は、がんによって苦しむ人や亡くなる人を減らし、
患者さんやご家族の未来に貢献できると信じ、挑戦を続けてまいります。
どうか今後とも、変わらぬ応援とご支援を賜れますよう、よろしくお願い申し上げます。

第一目標

470万円

第二目標

1,100万円



胃がん
食道がん



大腸がん
膵臓がん

対象とする症例を拡大して
検体の評価を進めるために、
ご支援をお願いします。

クラウドファンディングに関するお問い合わせ先：熊本大学 大学院先端科学研究部 医工学部門 中島研究室

TEL：096-342-3906（平日 10:00～16:00） E-MAIL：nakashima-lab@kumamoto-u.ac.jp

<https://readyfor.jp/projects/i-SCan>

READYFOR

熊本大学 がん医療 クラウドファンディング



ご寄附の方法

「熊本大学 がん医療 クラウドファンディング」で検索。
または表面の二次元コードを読み込んでください。

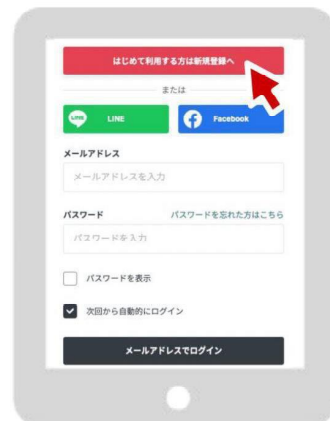
1 プロジェクトの寄付にすむをクリック



2 希望するコースにチェックを入れ、個数を選択



3 はじめて利用する方は新規登録をクリック



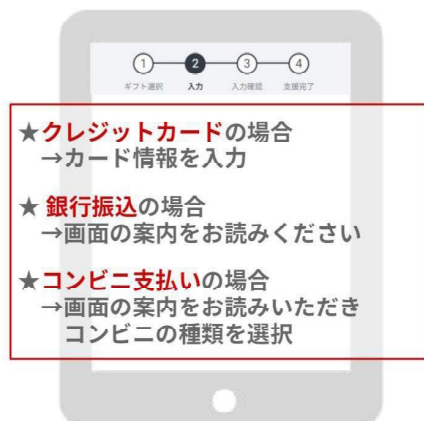
4 情報を入力しメールアドレスで登録をクリック



5 支払い方法を選択する



6 必要情報を入力



※コンビニ支払いは、ファミリーマート、ローソン、ミニストップのみ対応です。支援金額+システム利用料の合計金額が30万円未満のご支援でご利用いただけます。



入力したメールアドレス宛にREADYFORからメールが届きます。
受信したメールの本文内にあるURLをタップしてください。

7 ギフトお届け先(住所)を入力し入力内容の確認画面へをクリック



8 入力情報を最終確認し、寄付を確定するをクリック



お手続き完了です！

